

こみゅーと

「コミュニティユニオン東京」ニュース NO-038号 2013/1/1
170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館5F
TEL 03-3946-9277 FAX 03-3943-0936 E-mail staff@cutokyo.jp

恭賀新年 2013年 元旦

組合員・家族の皆様、本年も宜しく
お願い申し上げます。

昨年各支部の奮闘で、CU東京は組織人数を大きく伸ばすことができ500人組合に手の届くところまで到達しました。まだ一握りの組織ですが、これは不安定な状況で働かざるを得ない多くの非正規労働者にとって、希望の光になりうる第一歩だと思えます。



しかしながら、私たちを取り巻く情勢は厳しさを増しています。財界は外国人労働者は国内でも月2万円で雇用出来るので積極的に導入すべきと声高に叫んでいます。安倍政権も時代に逆行する道をたどろうとし、その先にはさらなる低賃金と増税が待ち受けています。

国内外には反貧困の旗を掲げて闘う多くの仲間います。CU東京を待っている仲間も沢山います。私たちは胸を張り逆風に負けず、今年も力を合わせて進んで行こうではありませんか。

コミュニティユニオン東京 執行委員長 市瀬正樹

ガンバロー2013春闘

年明けから、厳しい話題となりますが、ことしの春闘、何とかしなくては、と労働者をはじめ、商店主や中小企業の事業主、自営業の方にあると思います。

日本の労働組合運動には国民春闘と唱って、たたかっている長い歴史があります。労働組合が団結してたたかってきたことで、四半世紀前までは、一定の賃金引き上げを勝ち取ることができました。単純に言えば、賃上げ 消費購買

力UP 景気上昇という経済のサイクルを実現せ、国民春闘の名に相応しいたたかいがあった。ただし、労働組合は「賃上げだけか」との厳しい批判が在ったのも事実です。

なくせ、貧困格差



暮れの総選挙でも訴えられた、貧困格差問題は深刻です。正社員は減らされ、非正規労働者が毎年増え、大企業には使われない内部留保は260兆

円、労働者の収入は、2000年と比較して年収が52万円も減らされています。年収200万円以下の世帯が年々増加している(2010年、全世帯の18.6%となる)。当然、消費は下がり、商品はだぶつき、景気は下がる一方。

安倍内閣の経済対策には、物価引き上げはあっても、労働者の賃上げはない。財界は「きびしい国際競争で企業も苦しい」「賃上げなど論外」と公言。安倍内閣は金融、財政、規制緩和と大企業支援策を重視。財界いいなりの自民党政治復活の推進を強行する構えです。

地域経済を引き上げるために

春闘への期待は大きい、労働者と家族の暮らし、地域経済と産業・企業のまともな発展のためにも、賃上げ、雇用と労働条件の改善がいまほど求められているときはありません。

ドイツでは賃金の抑制傾向から、昨年、4.3%の賃上げ(20年ぶり)を労使が合意。ドイツ労働組合総同盟・金属産業労組が、警告ストを決行して経営側と対決し、たたかいとった成果です。ドイツの内需を活性化し、欧州経済のプラス要因になることが期待されています。私たちも労働運動を立て直し賃上げガンバロー。